



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月14日

上場会社名 アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6085 URL http://www.asj-net.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部所管 (氏名) 長尾 康三 (TEL) 06-6363-5701
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|------|----------------------------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 928 | △2.8 | △142 | — | △141 | — | △331 | — |
| 28年3月期第3四半期 | 955 | △5.5 | △32 | — | △32 | — | △28 | — |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 29年3月期第3四半期 | △207.46 | | — | | | | | |
| 28年3月期第3四半期 | △17.91 | | — | | | | | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 1,213 | 972 | 80.2 |
| 28年3月期 | 1,600 | 1,303 | 81.4 |

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 972百万円 28年3月期 1,303百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,365 | 6.7 | △80 | — | △80 | — | △270 | — | △169.17 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| 29年3月期3Q | 1,596,000株 | 28年3月期 | 1,596,000株 |
|----------|------------|--------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----|--------|----|
| 29年3月期3Q | －株 | 28年3月期 | －株 |
|----------|----|--------|----|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 29年3月期3Q | 1,596,000株 | 28年3月期3Q | 1,575,912株 |
|----------|------------|----------|------------|

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (2) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあって雇用・所得環境の改善が続くなかで一部に改善の遅れもみられるものの、景気は緩やかな回復基調のもと推移いたしました。海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、住宅ローンの低金利水準や政府による住宅取得支援策、相続税法の改正等により、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向にありました。

このような状況の下、当社は建築家との家づくりの一層の訴求をはじめ、ブランド資本の強化やASJアカデミー会員の獲得等を目的として、WEB広告を軸としたマーケティング諸施策を引き続き実施するとともに、建築家情報空間「ASJ TOKYO CELL」（東京都千代田区）、「ASJ YOKOHAMA CELL」（横浜市西区）及び「ASJ UMEDA CELL」（大阪市北区）の相互連携により、各種建設ニーズに応える最新の情報発信を行いました。

会員獲得からプランニングコース及び設計契約・工事請負契約に至るリードタイムの短縮と成約率の向上を図るため、2名の登録建築家からの同時提案「プランニングコースDUAL」や自社開発積算ソフト「COSNAVI」の機能拡充及び会員への直接的営業支援を行い、会員選択肢の質・量の充実を推進いたしました。

これらの諸施策の結果、第3四半期累計期間における重要業績評価指標は以下となりました。

ASJアカデミー会員の新規会員獲得数につきましては、ASJ CELL・WEB媒体での入会数が前年同期に比べ増加いたしました。加盟スタジオによるイベント開催回数の減少により下回りました。新規プランニングコース開始数は、前年同期比でほぼ横ばいの推移となりましたが、新規会員獲得からプランニングコースへの移行率は前年同期比で1.5%改善いたしました。

また、設計契約数は、前年同期比でほぼ横ばいとなりましたが、プランニングコースからの成約歩留まりは1.5%の改善となりました。工事請負契約件数及び工事請負契約金額につきましては、いずれも前年同期比で増加いたしました。ロイヤリティ料率は下回りました。

以上の結果、諸施策の効果は一部でみられるものの、加盟スタジオのイベント開催回数の減少が主要因でマーケティング売上が大幅減収となり、減収をその他の売上によって補うことができず、当第3四半期累計期間における売上高は928,304千円(前年同四半期比2.8%減)、営業損失は142,365千円(前年同四半期営業損失32,064千円)、経常損失は141,863千円(前年同四半期経常損失32,002千円)となりました。

また、建物及びソフトウェア等の全社資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき187,946千円を特別損失に計上いたしました。この結果、四半期純損失は331,099千円(前年同四半期純損失28,231千円)となりました。

なお、当社はASJ建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,213,105千円となり、前事業年度末と比べて387,830千円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、201,480千円減少し、890,694千円となりました。これは主として現金及び預金の減少78,707千円、売掛金の減少73,759千円、未収入金の減少55,917千円等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ、186,349千円減少し、322,410千円となりました。これは主に建物及びソフトウェア等の減損損失の計上187,946千円等によるものであります。

負債合計は240,352千円となり、前事業年度末と比べて56,731千円減少いたしました。

流動負債は前事業年度末に比べ、56,731千円減少し、240,352千円となりました。これは主に未払金の減少53,261千円、工事完成保証損失引当金の減少7,606千円等によるものであります。

純資産は972,752千円となり、前事業年度末と比べて331,099千円減少いたしました。これは四半期純損失331,099千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績について、第3四半期累計期間の業績及び事業環境等を踏まえ見直しを行った結果、平成28年11月4日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成29年2月14日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ7,158千円減少しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 673,912 | 595,204 |
| 売掛金 | 202,080 | 128,321 |
| 商品 | 2,913 | 3,043 |
| 未収入金 | 210,246 | 154,328 |
| その他 | 47,401 | 55,098 |
| 貸倒引当金 | △44,378 | △45,302 |
| 流動資産合計 | 1,092,175 | 890,694 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 78,967 | 108,716 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 4,242 | 4,045 |
| 建設仮勘定 | 174,123 | 4,593 |
| 有形固定資産合計 | 257,333 | 117,354 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 65,009 | 25,019 |
| ソフトウェア仮勘定 | 14,572 | 16,831 |
| 無形固定資産合計 | 79,581 | 41,851 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 134,098 | 121,956 |
| その他 | 58,904 | 59,808 |
| 貸倒引当金 | △21,158 | △18,561 |
| 投資その他の資産合計 | 171,845 | 163,203 |
| 固定資産合計 | 508,760 | 322,410 |
| 資産合計 | 1,600,935 | 1,213,105 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 23,291 | 14,598 |
| 未払金 | 198,843 | 145,582 |
| 未払法人税等 | 2,865 | 3,792 |
| 賞与引当金 | 3,613 | 1,686 |
| 工事完成保証損失引当金 | 7,606 | — |
| その他 | 60,863 | 74,692 |
| 流動負債合計 | 297,084 | 240,352 |
| 負債合計 | 297,084 | 240,352 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 412,755 | 412,755 |
| 資本剰余金 | 411,685 | 411,685 |
| 利益剰余金 | 479,411 | 148,312 |
| 株主資本合計 | 1,303,851 | 972,752 |
| 純資産合計 | 1,303,851 | 972,752 |
| 負債純資産合計 | 1,600,935 | 1,213,105 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 955,019 | 928,304 |
| 売上原価 | 192,714 | 172,192 |
| 売上総利益 | 762,304 | 756,112 |
| 販売費及び一般管理費 | 794,369 | 898,477 |
| 営業損失(△) | △32,064 | △142,365 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 199 | 214 |
| 保険返戻金 | — | 263 |
| その他 | 60 | 24 |
| 営業外収益合計 | 259 | 502 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 107 | — |
| 株式交付費 | 90 | — |
| 営業外費用合計 | 197 | — |
| 経常損失(△) | △32,002 | △141,863 |
| 特別利益 | | |
| 主要株主株式短期売買利益返還益 | 6,720 | — |
| 特別利益合計 | 6,720 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 187,946 |
| 特別損失合計 | — | 187,946 |
| 税引前四半期純損失(△) | △25,281 | △329,809 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,224 | 1,289 |
| 法人税等調整額 | 1,724 | — |
| 法人税等合計 | 2,949 | 1,289 |
| 四半期純損失(△) | △28,231 | △331,099 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。